

今回の遊文通信は…

- 2024年 躍進の想いとともに
- 4年ぶりのリアル社員総会&懇親会



株式会社 遊文舎  
代表取締役  
木原 庸裕

## 2024年 躍進の想いととともに ～かかわるすべてのみなさまとともに～

### 遊文舎を支えていただいているすべてのみなさま

いつも遊文舎に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。みなさまのおかげで、遊文舎は厳しい世相の中 2023 年度も越年し、新年度を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

2023 年度は脱コロナ。3 年間翻弄されたコロナ禍より解放され、急激な円安と相乗し、多くの外国人観光客が日本に来られ、高級商材を中心に消費が爆発した一年でした。2024 年はやや円高に振れそうですが、もともとの日本文化、日本食ブームに牽引され、消費動向は堅調ではないでしょうか。

しかし典型的な内需産業である私たち印刷事業者にとっては 2023 年は試練の連続でした。まず用紙はじめすべての原材料が高騰。これに対し、お客様と時間をかけてお話しさせていただきことの連続でした。継続取引の観点から、仕入れが上がったから印刷代も上がるという単純な話で終わらないケースも多く、仕事の進め方の見直しで原価を引き下げる等の工夫を一つひとつ重ねながら対処して参りました。今現在もそれは続いております。その他残業時間上限規制の 2024 年問題に対する労務環境再整備、雇用関係の補助金の打ち切り。それらの問題に真摯に取り組むことが求められた一年でした。

そんな厳しい中でも、2022 年に経営統合した京都支店兼工場を軌道に乗せるべく、走り抜けた一年間でもありました。社員一同、事業の意義目的と個々人に求められる役割をしっかりと理解し行動してくれました。おかげさまで新しく立ち上げた二つの工場、オフセット印刷を中心とした京都上鳥羽工場とデジタル印刷を中心とした新大阪工場では、新体制となったスタッフたちが澁刺と、トライ&エラーの末、大きな事故もなく私たちの事業運営力を鍛え上げてくれました。経営結果も大きな投資と再配置を行ったにかかわらず、安定した経常利益を計上できそうです。

本年 2024 年は蓄えた力を放出し、スタッフとともに更に躍

進する元年としていく所存です。ヒト・モノ・カネと言われる経営資源ですが、おそらく多くの企業で今後厳しくなってくるヒトについては、幹部層、中堅層の育成が進み採用も堅調です。これは今後大きなアドバンテージとなっていくと考えます。モノについても後 10 年程度は大きな投資が不必要なほど設備、インフラ上の課題、問題点を解消できています。投資したヒト、モノを活用しカネを増やし、それを元手に更に再投資するという健全なスパイラルを回していける状態です。

この輪を更に拡大し、お客様に対しより良質な商品サービスを提供することにより売上を伸ばし、そこで得た源泉をスタッフや取引先様に還元してゆく。この弛まない活動の速度を更に高め、仲間とともに成長の輪を育んでゆく所存です。

本年 2024 年度も想像もできないような様々な出来事がおこり、世の中は変わってゆくと思います。私たち遊文舎はスタッフ一同その変化を楽しみ、自分たち自身がそれに合わせて柔軟に変化することにより強かに存続成長を持続して参ります。

【私たちのスローガン】

育てよう OUR COMPANY!  
自ら創ろう OUR GREAT FUTURE!

本年度も遊文舎を何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社遊文舎 代表取締役  
木原 庸裕

# 新たな時代に 対応すべく 持続的な成長を！

4年  
ぶりの

## リアル社員総会& 懇親会開く

私たち遊文舎では、例年12月に社員総会を開催しています。しかし2020年以降、コロナ禍の影響で対面での開催を控えてきました。ただ今年はやっと状況も落ち着き、久しぶりにオンラインではなく、直接的な交流を促すリアルな社員総会を開催することができました。そしてこれは、2022年10月の旧(株)双林の吸収合併を経て、大阪・東京・京都の三拠点が初めて合同で開催する総会ともなりました。

12月9日(土)、総勢60名の社員が新大阪丸ビル別館に会い、2023年の締めにあわせて、また遊文舎の未来を共に考えることができた大変有意義な時間となりました。



社員総会  
01

### 社長挨拶

今後への強固な基盤ができた1年であった

総会の前半では、木原庸裕社長から2023年の業績と今後の展望に関する報告が、以下のようにありました。

「今年は、会社の合併と工場の統合を含む重要なプロジェクトを成し遂げた年でもあり、この結果、大阪本社のスペース問題が大幅に解消され、さらに京都支店の製作スタッフとの連携も進んだことが挙げられます。これらの成果は、今後の事業の持続と発展のための強固な基盤を築くものと期待されています。

2024年は、材料の高騰や印刷物の需要減少など、引き続き厳しい状況が続く見込みですが、遊文舎としては、変わらぬ誠実さをもって業務を遂行することを持続すると共に、一人ひとりの社員が、新しい繋がりを築き、これからの挑戦にも力強く取り組んでいくことができると信じています。」





続いて、総会の後半は、株式会社商工組合中央金庫の未来デザイン室から岩名様と岡崎様を講師にお招きし、「どうすれば幸せな会社を創れるか」というテーマのもと、「幸せデザインワークショップ」という約2時間のグループワークを実施しました。これは社員のみ参加という趣旨で、7名の経営幹部には別室でのカンファレンスがあったようです。



事前に9つのグループ分けの発表があっただけで、具体的な内容は分からないまま、みんなドキドキしながらのスタートとなりました。初めの質問「みなさんは幸せに働いていますか？」という問いかけに対し、各々自分の仕事について深く考え始めました。「どんな顔で働いているか」「最近仕事で嬉しかったこと」など、さまざまな感情が頭をよぎりました。

最近の研究では、「幸せ」を感じることで仕事のパフォーマンス向上につながるということが明らかになっています。例えば、素晴らしいアイデアが閃いたり、仕事の処理が早くなったり、営業成績が上がったり。これにより会社が成長し、その成果が個人にも戻ってくるという、このサイクルを回していくことが重要のようです。



### 幸せペンタゴンとは

#### ① コミュニティ・コミュニケーション

同僚、上司との職場内のコミュニケーションが良く、地域との関わりがある会社

#### ② チームパフォーマンス

居心地が良く、活気があるなど働きやすい職場環境が整っている会社

#### ③ マネジメント

経営方針への共感が高く、仕事のやりがいややる気を感じられ、個人や組織の成長につながる環境がある会社

#### ④ カラダ

労働時間やライフスタイルなど、みんなが健康に働ける会社

#### ⑤ マインド（幸福度）

一人ひとりが人とのつながりや自分らしくいられることに幸福感を持ち、それぞれの人生に満足している会社

ワークショップでは、「年齢や職位は関係なし！この時間だけは役職や肩書も一切関係なくフラットな立場で対話しましょう！」というルール説明があり、まずはグループ内での自己紹介からスタートしました。その後、「幸せの5つの要素（幸せペンタゴン）」に基づいて様々なテーマについて各グループで話し合いが行われ、各自の意見を「ポジティブ」「ネガティブ」に分類し、遊文舎のイメージを共

有しました。グループ活動が進むにつれて、初めの緊張も解け、活発な議論が展開されました。最終的には、幸せな会社の実現に向けて、個々の取り組みを発表することで、ワークショップは締めくくられました。

## 懇親会

## 表彰やらゲームやら

初対面とは思えぬ賑やかさ

総会の後には、少し時間をおき場所も変えて、懇親会が開催されました。この場には、パートスタッフや協力会社の方々も新たに参加し、約4年ぶりに多くの人々が同じ空間で集い、食事やお酒を共に楽しむ貴重な機会となりました。個人的には、このような集まりは、普段の業務ではなかなか交流の機会がない社員や関係者同士の関係が強化され、互いの理解を深める貴重な時間となると感じています。また、異なる部署や役割のメンバーが交流することで、異なる視点や意見交換が生まれる可能性もあります。



私は営業の皆と一緒に、これからも変化を恐れず、新たな挑戦を続けることが重要だと思っています。またこのような社員総会や懇親会を通じて、社員同士のつながりを強化し、お互いを支え合いながら、会社全体としても成長していけるよう努めていきたいと考えています。

新たな時代に対応し、社員一人ひとりが自分の役割を認識し、それぞれが最大限の能力を発揮できる環境を整えていくことが、遊文舎の持続的な成功への鍵となるはずです。  
(企画営業部 鈴木友紀)



## ■編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様、年末年始のお休みはいかがお過ごしでしたか？今年も『遊文通信』では明るい話題等、多数取り上げていきたいと思っております。引き続き2024年もご愛読いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。  
(原田)

## ■今月の紙

紙：サテン金藤 N  
菊判 76.5kg